

自分と大切な人の未来のために

がん検診を受診してみませんか

早期発見には定期的な検診を

がんは、2人に1人がかかるといわれており、日本人の死因第1位です。

しかし、早期に発見して治療を行えば、約9割が治るといわれています。「早期がん」を発見するため、定期的にがん検診を受けることが重要です。

がん検診の現状

令和5年度、本市のがん検診によるがん発見者数は、**51人**でした。

- 胃がん …… 3人
- 大腸がん …… 18人
- 乳がん …… 17人
- 子宮がん …… 3人
- 肺がん …… 10人

受診しやすいように

本市では毎年市民の方が、がん検診を受診しやすいようにさまざまな取り組みを実施しています。

① 集団検診、土日検診など

複数の検診を同日に受診できるセット検診や土日検診、医療機関で受診できる個別検診も行っています。



40代の女性が全てのがん検診(集団検診)を受診した場合と自己負担で受診した場合の比較

検診の種類	全額自己負担で受診した場合の検査料	集団検診で受診した場合の検査料
胃がん	5,000円	1,000円
大腸がん	1,800円	600円
乳がん	6,000円	1,700円
子宮がん	4,500円	1,000円
肺がん	1,700円	500円
合計	19,000円	4,800円

14,200円も安く検診を受けることができます！



▲各種がん検診・健康診査のご案内



▲令和8年度各種がん検診等の日程

がん検診詳細情報

検診日程や受診料金などは、決定次第、市ホームページに掲載予定です。



▲けんしんWEB予約
さつませんだい

申込期限／2月27日(金)

※転入者や追加申込希望の方は、WEB予約、電話での申し込みも可能です。
※市公式LINEの基本メニューの「検診・予約」の「けんしんWEB予約さつませんだい」からもログインできます。

③ WEB予約システムの導入

がん検診の申し込みをスマートフォンやパソコンからでもできるようになりました。24時間いつでも申し込みをすることができます。

また、がん検診の対象者には「令和8年度がん検診申込票」を1月下旬に送付しています。必要事項を確認の上、返送またはWEB予約で申し込みしてください。

令和8年度実施予定のがん検診

	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	肺がん	前立腺がん
対象者 (令和9年4月1日時点の年齢)	40歳以上男女		40歳以上女性	20歳以上女性	40歳以上男女	50歳以上男性
検査方法	胃部X線検査 (バリウム検査)	便潜血検査	マンモグラフィ	頸部細胞診	胸部X線検査	血液検査
時期(予定)	集団検診	本土圏域: 4月～6月 甌島圏域: 10月 【同日受診可能】		本土圏域: 8月、9月 甌島圏域: 5月 【同日受診可能】		10月～12月
	個別検診 (医療機関)	—	12月～翌年1月 (医療機関へ 容器を郵送)	6月～翌年1月		11月* (要申込)
自己負担額 ※免除区分あり	集団検診	1,000円	600円	40代: 1,700円 50歳以上: 1,000円	1,000円	500円
	個別検診 (医療機関)	—	600円	1,800円	1,500円	1,300円
申し込み	必要 (対象者へ送付された申込票に希望検診を記入し提出)				不要 (対象者全員へ受診票を送付)	

- 集団検診は、各地区保健センターなどにおいて、検診車でを行います。
- 個別検診ができる医療機関については、市ホームページ「令和8年度各種がん検診等の日程」をご覧ください。
- 上記がん検診の他にも、腹部超音波検診や骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検査なども行っています。

※肺がん検診個別検診＝身体障害者手帳1級に準ずる手帳をお持ちで、自力で検診車への乗り降りが難しい方

検診は受けた後が大切です

結果が「要精密」であった場合は、精密検査を受けることで、より正確に検査結果を確認することができます。

「要精密」と判定されても検査で見つからないもの(偽陰性)や、逆に「要精密」でないのにその疑いがある(疑陽性)という診断を受けることもあります。

精密検査は、このようながんの疑いを除外し、正しく判断するために必要です。

検査結果が「要精密」の場合や自覚症状がある場合は、必ず早めに医療機関を受診しましょう。

がん検診受診状況確認アンケートにご協力ください

職場など(市の実施する検診以外)でのがん検診受診状況(前年度)について、受診確認アンケートを行います。
申込票同封のアンケート用紙、または、電子申請により回答してください。
検診しやすい環境づくりのためにも、ぜひアンケートにご協力ください。



▲がん検診受診
状況アンケート

